

当クリニックで使用しているロタウイルスワクチン
2018年02月13日現在

湘南鎌倉バースクリニック

〒247-0066 鎌倉市山崎1090-5

TEL: 0467-45-4103

FAX: 0467-45-1721

電子メール: birth@shonankamakura.or.jp

URL: <http://www.sk-bc.jp/>

現在日本で販売されているロタウイルスワクチンには、ロタリックスRotarix(GSK社製)とロタテックRotateq(MSD社製)の2種類がありますが、当クリニックで使用しているのは、ロタリックスのみです。

ロタウイルス粒子の表面にはG抗原とP抗原があり、これらに対する免疫がロタウイルスの感染防御に働きます。G抗原はG1～G27の27種類、P抗原はP[1]～P[35]の35種類があります。ロタリックスは1価ワクチンといわれており、有効成分はヒトロタウイルス由来のG抗原G1とP抗原P[8]をもつG1P[8]のみですが、腸管内でよく増殖するので少量でよく、G1P[8]以外の主要な流行株に対しても予防効果が示されています。一方、ロタテックは5価ワクチンといわれていますが、有効成分はヒトロタウイルスとウシロタウイルス由来の4種類のG抗原G1・G2・G3・G4と1種類のP抗原P[8]の再集合体なので、腸管内で増殖させるために多量必要とします。

ロタリックスは1回接種量1.5mL、接種回数2回であるのに対し、ロタテックは1回接種量2mL、接種回数3回です。血清ロタウイルスIgA抗体陽転率はロタリックス1回接種後ですでに88%となります(Vesikari, 2004)が、便ロタウイルスIgA抗体陽転率はロタテック3回接種後でやっと84%となります(Ward, 2004)。

以上から、当クリニックではロタウイルスワクチンとして、1回接種量も接種回数もより少なく、効果発現がより速いロタリックスを使用しています。